

vol.22
2013
夏号

らひふ

松下記念病院



診療科
見学note

特集

MATSUSHITA
REPORT

外科部

医療連携センター

～シリーズ② 相談業務～

がん看護専門看護師

■ News
新入医師の紹介

■ フロアガイド

■ 病院ボランティア活動
100回表彰!

大阪府がん診療拠点病院として5大がんの診療に取り組んでいます。

スタッフ紹介



高尾 大陽 清水 谷 和泉
岡野 野口 山口 荒木

近年のがんの状況

約30年前(1981年)より日本人の死因のトップはがんです。現在は2人に1人ががんに罹り、3人に1人はがんで死ぬ時代と言われています。男性では肺がん、胃がん、大腸がんがトップ3、女性は大腸がん、肺がん、胃がんがトップ3ですが、不幸なことに大阪府は1985年以来一貫してがん死亡率が全国で最悪レベルです。

その汚名を返すべく日夜がんの診療(主に手術)に取り組んでいるのがわれわれ外科です。

5大がんとは

5大がんとは、胃がん、大腸がん、肝臓がん、肺がん、乳がんです。手術と言っても画一的なものではなく、その進行度に応じて機能を温存し、できるだけ低侵襲な(からだにやさしい)手術を心がけています。

低侵襲手術として盛んに行われているのが、傷をできるだけ小さくするために腹腔鏡や胸腔鏡を用いて行う鏡視下手術です。大腸がんではもはや腹腔鏡下手術が主体となり、胃がんにおいてもその適応は拡大傾向にあると言えます。

副院長(部長)

のくち あきのり
野口 明則

京都府立医科大学臨床教授 外科専門医・指導医
消化器外科専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医
日本胃癌学会評議員 近畿外科学会評議員

消化器外科部長

おかの しんじ
岡野 晋治

外科専門医・指導医 消化器外科専門医・指導医
消化器病専門医 消化器がん外科治療認定医
近畿外科学会評議員

乳腺内分泌外科部長

やまぐち まさひで
山口 正秀

外科専門医・指導医 消化器外科専門医・指導医
がん治療認定医 消化器がん外科治療認定医
乳腺専門医 プライマリリーケア認定医
マンモグラフィー読影認定医 近畿外科学会評議員

副部長

たに なおき
谷 直樹

外科専門医・指導医 消化器外科専門医 消化器病専門医
がん治療認定医 消化器がん外科治療認定医
マンモグラフィー読影認定医 近畿外科学会評議員
日本内視鏡外科学会技術認定医

副部長

いずみ ひろゆき
和泉 宏幸

外科認定医・専門医 胸部外科認定医 呼吸器外科専門医
がん治療認定医機構暫定教育医・認定医

主任

しみず たけし
清水 健

外科専門医・指導医 消化器外科専門医 消化器病専門医
がん治療認定医 消化器がん外科治療認定医
マンモグラフィー読影認定医
インフェクション・コントロール・ドクター

主任

あらかし やすのぶ
荒木 康伸

外科認定医・専門医

主任

たいよう ひろあき
大陽 宏明

日本外科学会専門医 日本乳癌学会認定医
マンモグラフィー読影認定医 がん治療認定医

医師

たかお こうじ
高尾 幸司

肺がんでは胸腔鏡下手術を行うことで開胸という大きな侵襲を回避することができ、患者さんに大きな恩恵をもたらしています。乳がんに関しては鏡視下の方向ではなく乳房再建への需要が高まっており、われわれも有茎筋皮弁やインプラントにて対応しています。

鏡視下手術

鏡視下手術の技術革新には目覚ましいものがあり、現在最も注目されているのがロボット手術と3D内視鏡です。

“ダ・ヴィンチ”に代表される医療ロボットによる手術（戦場において遠隔操作にて手術をする目的でアメリカで開発された技術）は本邦でも大学病院を中心にその数を急速に増加させていますが、保険適応が前立腺がんに限られており、自費診療にならざるを得ないという現実があります。

3D技術に関しては、家庭用テレビにおける普及はやや苦戦模様ですが、鏡視下手術に関しては2次元画像では得られない『奥行感』や『距離感』がリアルタイムに再現され、微細な手術手技に優位な環境を提供してくれます。当院では今春よりパナソニックヘルスケア社が開発したフルハイビジョンの3D内視鏡手術映像システムを導入しており、より精緻な手術を迅速に行う環境を実現しています。

主な治療成績 (2012年度)

術名	件数
胃 癌	5 3
大 腸 癌	8 6
肝 胆 膵 癌	1 0
乳 癌	8 8
肺 癌	3 7
気 胸	1 2
胆 石 症	6 7
へ ル ニ ア	9 3

われわれ外科医は、最新の技術を存分に利用し、より高度な手術手技によるがん治療の実現に向け日夜努力しております。

3D内視鏡



これが、3D内視鏡による手術風景です。全員がかけているサングラスのようなめがねは3D偏光めがねであり、3D画像を得るには必須です。（少し柄が悪く見えますが…）

専門クリニック

- 乳腺外来は月・火・水(月・火:山口正秀、月・水:非常勤女性医師)に開設しております。女性医師の診察を希望される方はお気軽にご相談ください。
- 呼吸器外科外来は火・木曜日に開設しております。肺癌、縦隔腫瘍、気胸等に関してご相談ください。
- ストーマ外来(人工肛門、人工膀胱を造設された方の専門外来)を毎週木曜日(完全予約制)にしておりますので、お気軽にご相談ください。(担当・皮膚・排泄ケア認定看護師 小林 直美)

病気、治療、介護制度、医療にかかる費用などさまざまにご相談に応じています。

皆さま方の中には、不安や気にかかることが漠然としており「何からどのように相談してよいか分からない」という方もおられることと思います。どのようなことでも皆さまと共に考え解決していくお手伝いをします。



医療福祉相談

病気になると、予想外の問題が生じる場合があります。

実際の相談内容事例では…

- 治療にかかる医療費のこと、高額療養費について知りたい。
- 入院中仕事に通えない、休業中の補償はどうなっているの。
- 身体障害者手帳を申請するとどんなサービスが利用できるの。
- 退院しても良いと言われたけれど、退院後の生活が心配。
- 家で介護する人がいない。介護保険の手続きはどうすればよいの。
- リハビリを専門的に出来る病院はあるのかな。



上記の例は、ほんの一部のご紹介ですが、このような状態に遭遇した時、患者さまに安心して治療に専念していただけるように、経済面、社会面、心理面における心配や不安についての相談を行っています。ご相談は、社会福祉士、精神保健福祉士、介護支援専門員の資格を持った医療ソーシャルワーカーが、お話をお伺いします。相談スペースもご用意しておりますので安心してお越しください。相談内容につきましては守秘義務を徹底しています。



患者さまとの面談の様子



医療ソーシャルワーカー

● 退院支援

医療連携センターでは急性期病院として、治療を終えた患者さまが速やかに退院できるよう、入院時から退院に向けたお手伝いをしています。患者さまの状態に応じて、退院後の介護保険サービス利用のお手伝い、転院先のご紹介や、介護関連施設利用への支援等、主治医や各種スタッフ（看護師・理学療法士、作業療法士、言語聴覚士など）とも連携を取りながら退院支援に取り組んでいます。

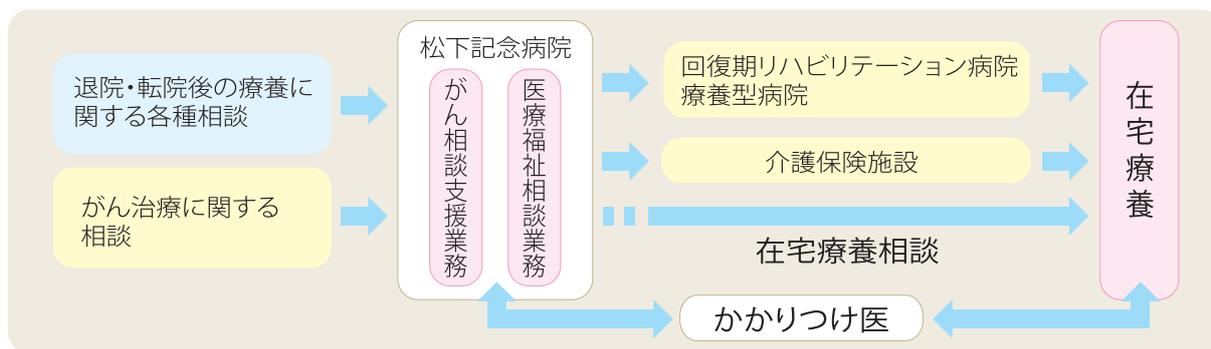
また、患者さまの状態に応じて、退院後も在宅医との連絡等、調整を行い、当院とのつながりは保たれます。一人一人の患者さまのご相談内容から、ご本人の希望、状態、社会背景に応じて、その方に必要な職種、制度、機関と連携を取り、調整を行い、退院後の日常生活が軌道にのるように、お手伝いしています。患者さまに限らず、ご家族さまからのご相談もお伺いしておりますので、お気軽にお立ち寄りください。

● がん相談支援

患者さまの悩みや経済的な心配、治療をどのようにすればよいか迷っているなど、さまざまな問題を一緒に考えます。

- がんに関する治療や医療機関情報などを収集し、通院中の患者さま以外の方からの相談に応じています。
- 緩和ケアをご希望の場合には
 - ・ 入院…緩和ケア病棟のある病院をご紹介
 - ・ 在宅…在宅医、訪問看護ステーション等をご紹介、その他調整
- 患者会の企画、運営(年に2～3回開催)を行っています。
当院に入通院されている患者さまを対象とした患者会
 - ・ 乳がん患者会 …10名前後でわきあいあいと患者さま同士の交流を中心に行っています。
 - ・ 血液疾患患者会 …患者さまだけでなく、ご家族も参加され、病気の話や療養に役立つレクチャーと参加者の方々との交流を行っています。

松下記念病院の地域連携 (後方連携)



ご相談をご希望の方は…

- 病院1階の医療連携センターへ直接お越しください。
- 右記お問い合わせ先にご連絡ください。
- 入院中の方は主治医もしくは病棟看護師にお申し出ください。

事前に患者様の状態を把握するためにも、面談は基本にご予約となります。

お問合せ先

医療連携センター・がん相談支援室
月～金 8:30～16:45
土 8:30～12:00 (第1.3.5土曜日)
電話 06-6992-1231 (代)



がん看護専門看護師とは

がん看護分野において、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族および集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するために、がん看護分野の知識および技術を高め、保健医療福祉の発展に貢献し、併せて看護学の向上を図るという役割を担います。



志方看護師

● 専門看護師とは～6つの役割～(日本看護協会ホームページより)

- ①実践：個人・家族及び集団に対して卓越した看護を実践する。
- ②相談：看護職を含むケア提供者に対しコンサルテーションを行う。
- ③調整：必要なケアが円滑に行われるために、保健医療福祉に携わる人々間のコーディネーションを行う。
- ④倫理調整：個人・家族及び集団の権利を守るために、倫理的な問題や葛藤の解決をはかる。
- ⑤教育：看護職に対しケアを向上させるため教育役割を果たす。
- ⑥研究：専門知識及び技術の向上並びに開発を図るために実践の場における研究活動を行う。

2013年4月現在、専門看護師分野は11分野、全国で1044人(そのうちがん看護分野432人)が活躍しています。



看護倫理研修でのグループワーク風景

● 松下記念病院での主な活動内容

- 医師・看護婦・薬剤師などで構成される緩和ケアチームの一員として病棟内を週1回巡回し、痛みや吐き気など辛い身体症状や治療における不安などを抱えておられる患者さまの症例について、よりよい解決方法の話し合いを行っています。
- 病棟スタッフから直接依頼を受け、病棟だけでは解決しがたい症例について、時には患者さま・ご家族に話をお伺いし、必要なケアを行っています。
- 教育活動として、がん看護、看護倫理、看護研究についての研修の企画・講演など運営全般を担っています。
- 看護師の看護研究を支援し、科学的根拠に基づいた看護を提供することで、患者さまがより安全で安楽な入院生活を送れることを目指しています。
- 倫理カンファレンスを行い、スタッフとともに倫理観を高め、広い視野を持った医療者の育成に努めています。

● がん看護において私が大切にしていること

- がん患者さまとご家族が、がんを抱えながらも社会の一員として、望んだ生活が少しでも送れることを支援したいと思っています。
- 患者さまとご家族が納得して治療や緩和ケアを受けることができるように意思決定支援をしたいと思っています。

新入医師の紹介



糖尿病・内分泌科部

主任

はらやま たくや
原山 拓也

頑張りすぎず、でもあきらめない。治すというより付き合っていく。そんな糖尿病の療養のお手伝いをいたします。



呼吸器科部

副部長

やまだ たかひろ
山田 崇央

呼吸器科は、肺癌、肺炎、慢性閉塞性肺疾患（肺気腫／慢性気管支炎）、気管支喘息、間質性肺炎などの疾患をガイドラインに基づいて診療しています。総合病院として他科の医師や看護師などからなるチーム医療を大切に、同時に地域医療の先生方と連携をとって診療を行っています。



消化器科部

主任

やまだ のぶひさ
山田 展久

消化器病、特に内視鏡治療を専門にしています。病気の際に、治療方針などについて、知りたい事不安に思うことなどあるかと思いますが、なるべく分かりやすく説明するように心がけています。



消化器科部

むかい りえこ
向井 理英子

安全で、安心できる治療が受けられるよう、誠心誠意努めますので、お気軽にお声掛けください。よろしくお祈りします。



消化器科部

たかやま しゅん
高山 峻

消化器科の高山です。まだまだ学ぶべき事も多い身ですが、精一杯診療させていただきます。よろしくお祈りします。



循環器科部

ほんだ さきこ
本田 早潔子

循環器内科医の本田早潔子です。新しい病院で慣れないところもありますが、丁寧な診療をさせていただきます。



外科部

主任

あらかし やすのぶ
荒木 康伸

消化器外科を専門としており、患者様一人一人の病状・希望・環境を考慮に入れた個別化医療も重要であると考えております。地域医療に少しでも貢献することができればと考えております。



外科部

たかお こうじ
高尾 幸司

いつまでも謙虚に、思いやりのある医療を行っていきたくて思っております。いつでも気軽に声掛けください。



整形外科部

副部長

ながさわ こうじ
長沢 浩治

関節リウマチをはじめ関節の痛みや障害全般を診療しています。最近の関節リウマチの治療は、薬による進歩が著しく痛みや傷害を抑えることができ、手術が必要な場合でも関節の機能をなるべく残し患者さまの負担が少なくなっています。



整形外科部

主任

いちまる こうぞう
市丸 宏三

はじめまして、整形外科で4月から勤務することになりました市丸宏三です。まだまだ学んでいけないといけない事がたくさんあり、勉強させていただきます。



小児科部

部長

いしだ ひろゆき
石田 宏之

このたび、大学附属病院より復帰し、当院でも小児科全般、中でも小児血液疾患・膠原病を専門とし診療させていただきます。お子さんの自然治癒力が期待できる疾患と、早期に集約した治療が必要な疾患をしっかり見極め、質の高い医療をめざしていきます。



小児科部

きたむら あやか
北村 綾香

小児科医として7年目で、まだまだ未熟者ですが少しでも患者様に笑顔になって頂けるよう1日1日精進していきたくと思います。



小児科部

ないとう たくと
内藤 拓人

悩みに真摯に耳を傾け、安心してお子様を預けていただける医師を目指して努力します。気になることは何でもお話しください。



泌尿器科部

主任

やまだ たけし
山田 剛司

4月から勤務することになりました泌尿器科の山田剛司です。患者さまの信頼を得られるようにがんばりたいと思います。よろしくお祈りします。



泌尿器科部

主任

しみず てるき
清水 輝記

今回、松下記念病院に泌尿器科医として勤務することになりました。地域に根ざした医療に少しでも貢献できるように頑張ります。



麻酔科部

しおみ まゆみ
塩見 真由美

4月より当院麻酔科で働かせて頂くことになりました。松下記念病院の一員として、真摯に取り組み、地域医療に精一杯、貢献したいと思っております。



麻酔科部

ながみね たつなり
長峯 達成

患者さまの不安を少しでも取り除くことができるよう、安心・安全の麻酔を目指しています。まだ医師となって3年目の若手ですが、日々努力していきます。



腎不全科

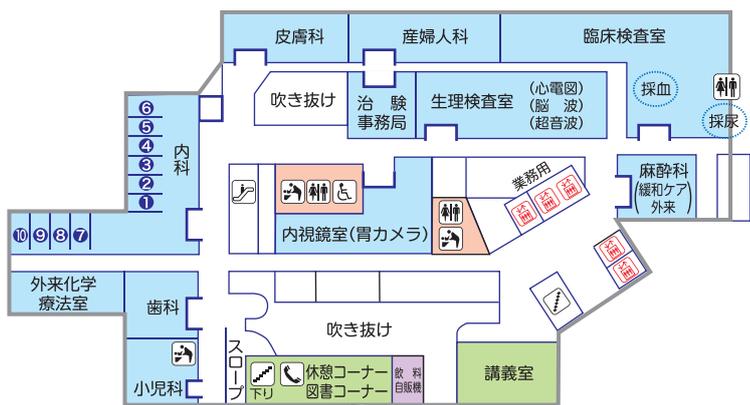
みかみ たかこ
三上 貴子

丁寧でわかりやすい診療を行っていきたく思っております。どうぞよろしくお祈りします。

フロアガイド

FLOOR GUIDE

2階



- 内科
- 小児科
- 産婦人科
- 皮膚科
- 麻酔科
- 歯科
- 生理検査室
- 臨床検査室
- 内視鏡室
- 外来化学療法室
- 治験事務局

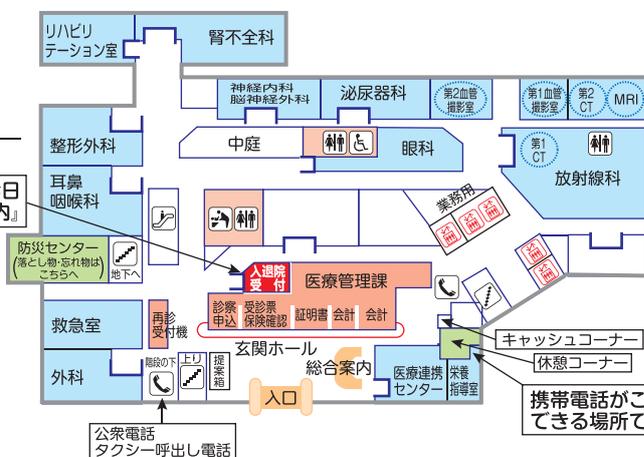
- トイレ
- エレベーター
- 電話
- ベビーベッド
- エスカレーター
- 食堂
- 階段

携帯電話がご使用できる場所です!

1階

- 外科
- 脳神経外科
- 神経内科
- 整形外科
- 泌尿器科
- 眼科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 腎不全科
- 総合案内
- リハビリテーション室
- 栄養指導室
- 入退院受付
- 医療連携センター

夜間・早朝・休日
「時間外受付ご案内」



携帯電話がご使用できる場所です!



中島道子さんと山根院長

この度、思いがけず感謝状をいただき驚いています。これからも、私にできることをさせていただこうと思っております。

病院ボランティア活動100回表彰!

中島道子さんのボランティア活動100回を記念し、感謝状を贈呈しました。

2008年12月に病院・はとぴあボランティアが誕生しました。病院では、患者さまの受診サポートや小児科病棟での絵本の読み聞かせ、手仕事、院内コンサートにご協力いただき、はとぴあでは、通所・入所利用者さまの話し相手や昼食・夕食の介助、季節の行事のお手伝いなどの協力をお願いしています。ボランティアの温かい活動がどんどん広がり、かけがえのない存在になっています。

ボランティア活動に関心のある方はご連絡ください。

今後とも引き続きよろしく
お願いいたします。

お問合せ先

病院・はとぴあ
ボランティアコーディネーター 山口
Tel. 06-6992-1231 (代表)